

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	環境情報学特別演習 I（Environmental Information Engineering Seminar I）		
ナンバリングコード	R30401	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M001110	クラス名	石井研究室
担当教員名	石井 翔大		
履修上の注意、 履修条件	大学院の研究活動の一環として、議論を通して習熟を深めます。 研究に対して積極的に自らの考えを発言することが求められます。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	研究テーマにより随時指示します。		
関連科目	近代建築史特論A、B		

○基本情報		
授業の目的	特別研究を遂行するために求められるテキスト解釈力と論文の構築力を養うことを目的とします。 大学院生の各自が実際に着手する研究を円滑に遂行することを目的に多方面から議論します。 議論を通じて、自発的、創造的に研究を切り開いていくためのヒントを得ることを目的とします。	
授業の概要	研究を行うにあたって重要な既往研究のレビューを行います。 適切な報告ができるように、テキスト読解力を養うとともに、テキスト解釈の要領を指導します。 テキスト解釈にともなう既往研究の内容について議論を行います。 研究主題に関連する既往研究の概要を網羅的に理解することをめざします。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	学習の予習を欠かすことなくできる。 積極的に発言できる。			30%
【ディプロマ・ポリシー②】	取り組む研究の社会的背景、立場、目的を理解している。			30%
【ディプロマ・ポリシー③】	研究目的を達成するような調査を実施できる。 必要に応じて研究の方針を微調整できる。		20%	20%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	環境情報学特別演習 I（Environmental Information Engineer	授業コード	M001110
学修内容					
1. ゼミ(1・2) ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
復習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
2. ゼミ(3・4) ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
復習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
3. ゼミ(5・6) ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
復習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
4. ゼミ(7・8) ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
復習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
5. ゼミ(9・10) ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
復習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
6. ゼミ(11・12) ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
復習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
7. ゼミ(13・14) ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
復習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
8. ゼミ(15・16) ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間
復習	各自の研究テーマの設計に関する調査。				約2時間

○授業計画		科 目 名	環境情報学特別演習 I（Environmental Information Engineer	授業コード	M001110
		担当教員	石井 翔大		
学修内容					
9. ゼミ(17・18)					
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
復習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
10. ゼミ(19・20)					
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
復習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
11. ゼミ(21・22)					
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
復習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
12. ゼミ(23・24)					
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
復習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
13. ゼミ(25・26)					
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
復習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
14. ゼミ(27・28)					
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
復習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
15. ゼミ(29・30)					
ゼミ形式で実施し、受講生自身の研究課題の進捗に合わせて授業を展開します。また、必要に応じて地域での実践、調査を行います。					
予習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
復習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
16.					
予習					
復習					